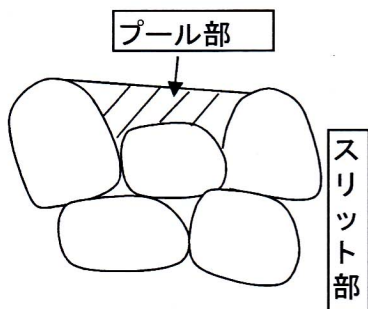
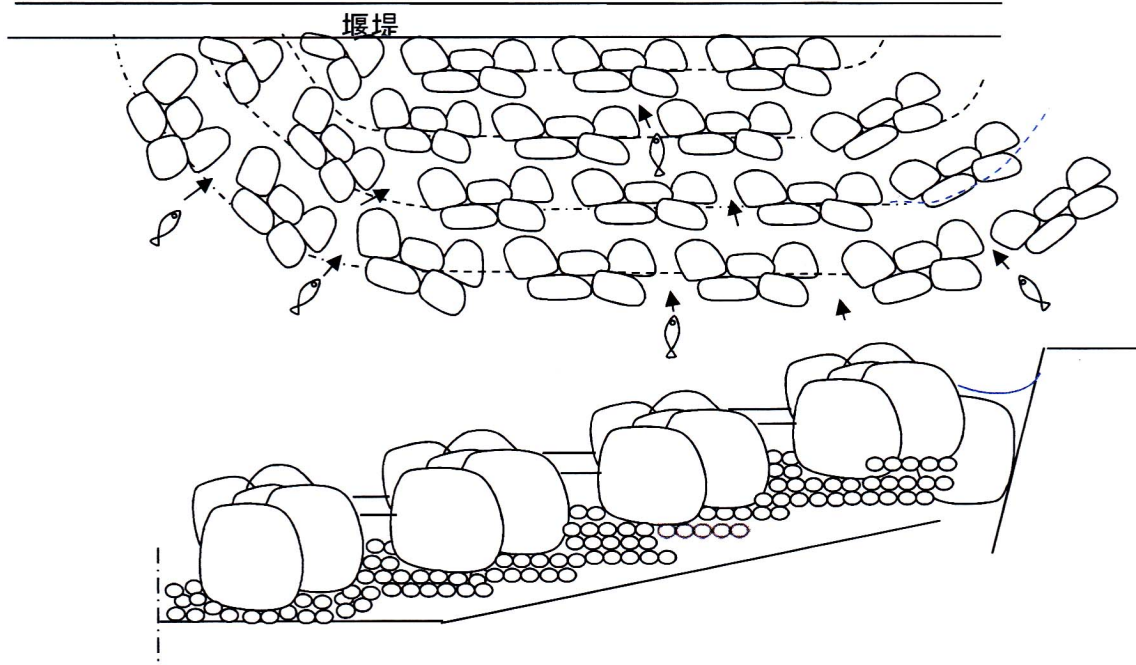
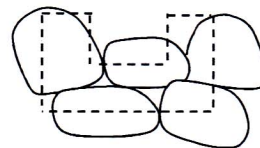


# 凹型巨石群魚道

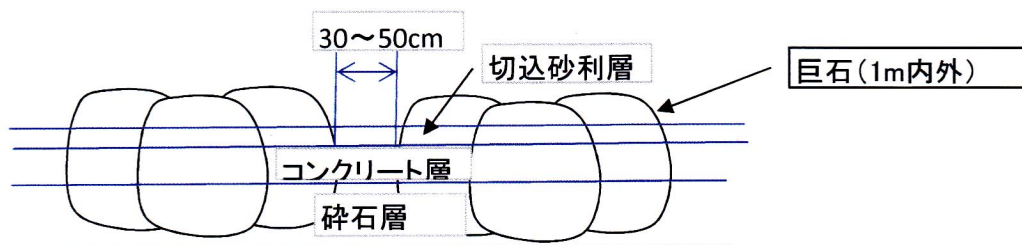
堰堤等の構造物が設けられた河川を魚が遡上できるようにする魚道

凹型形状に数個組み合わせた巨石群を千鳥状に配置



魚の遡上面での効果(凹型巨石群)

1. 本魚道は扇形をしているため180°どこからでも遡上できます。
2. 数個の巨石を下流に向かって凹形状に形成することにより、水流を効果的に弱めることができ、プール部(魚の休憩場所)を形成しやすくなります。
3. 巨石群を千鳥状に配置したことにより、スリット部(魚の遡上ルート)を効果的に形成できます。
4. 減水時においてもプールは水を蓄えることができ、常に水が流れ出るため



構造上のメリット

1. 巨石安定構造のため基礎構造物が不要で、設置が簡単のため工期が短縮できます。
2. 使用する巨石が現地採取可能であれば大幅なコスト削減につながります。

# 凹型巨石群魚道におけるアユの遡上調査について

株式会社 大手組

## 1. 目的と魚道の概要

平成27年3月に施工した凹型巨石群魚道の事業実施効果の確認を行う目的でアユ等の遡上状況を行った。(環境新技術導入促進事業)



凹型巨石群魚道

## 2. 調査方法

魚道の両側にビデオを設置し、アユの出現数(跳びはね数)をカウントした。

## 3. 調査期間

平成27年5月7日～5月15日 (8:00～17:00)



調査状況

表－１ 凹型巨石群魚道における鮎の遡上調査結果

| 月日    | 調査時間        | アユ出現数<br>(跳はね数) |
|-------|-------------|-----------------|
| 5月7日  | 13:30～14:30 | 4               |
| 5月8日  | 9:00～10:00  | 1               |
|       | 11:00～12:00 | 2               |
|       | 13:00～14:00 | 3               |
|       | 14:30～15:30 | 1               |
|       | 16:00～17:00 | 1               |
| 5月10日 | 12:00～13:00 | 1               |
| 5月13日 | 12:30～13:30 | 8               |
|       | 13:30～14:30 | 3               |
| 5月14日 | 16:00～16:30 | 9               |
|       | 16:30～17:30 | 8               |
| 5月15日 | 12:30～13:30 | 3               |
|       |             |                 |
|       |             |                 |
| 小計    |             | 44              |
|       |             |                 |



鮎の遡上状況

#### 4. まとめ

遡上調査の結果、

- ①稚鮎も含め多くの鮎が魚道を利用していることが、確認できた。
- ②跳びはね箇所は魚道中心部に集中しており、魚道中心部に鮎を導く効果も確認できた。
- ③跳びはね遡上できなかった稚鮎(5cm以下)もその後遡上したものと思われる。

以上より本魚道の事業実施効果が見受けられる。

また、漁協関係者および釣り客にも好評であった。



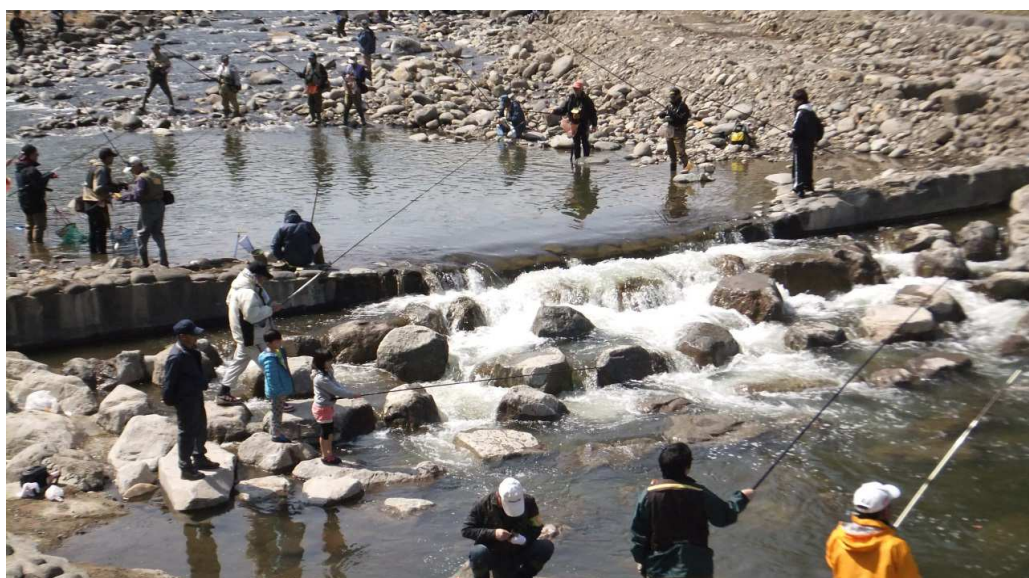
水の流れる方向

凹型巨石群の一部

作業状況



完成



凹型魚道付近での釣り状況 平成27年3月下旬